



くまのみ通信

中谷外科病院の理念—患者様とともに歩む

-中谷外科病院広報誌-



第30号
2013年8月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>

Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

診療時間
月～金 9:00～12:00
15:30～18:30
土 9:00～12:00

<中谷外科病院の 基本方針>

I:常に患者様の立場に
立ち、行動する。

I:消化器内視鏡、大腸
肛門病の専門病院として
最新・最善の医療を提供
する。

I:多職種間によるチーム
医療の充実をはかる。

I:在宅復帰を支援し、
社会に開かれた地域
医療を行う。

I:職員同士の和を重視し、
思いやりのある医療
を実践する。

笑顔であいさつ

8月1日は中谷外科病院の誕生日です。今年で満47歳になりました。これまで当院をささえてくれた多くの患者様、関連医療機関、そして職員の皆さんに広報誌「くまのみ通信」の場をかりて篤く御礼申し上げます。当院では朝礼や色々な会議で繰り返し確認していることがあります。それは「笑顔であいさつをしよう」という当たり前のことです。患者様やご家族に対しては勿論、職員同士が自分から笑顔で「おはようございます」と挨拶し、皆が気持ちよく一日のスタートを切ること。これができればしめたものです。あなたは多忙のあまり、あるいは家庭でのトラブルや、特定の相手への苦手意識や何やかやで、辛い気持ちのまま不機嫌な態度で仕事をしていますか。

医療の最も重要な使命は患者の命と安全を守ることです。プロフェSSIONALとしての意識をしっかりと持ち、仕事に就く時には気持ちをリセットして、笑顔でこちらからすんで語りかけましょう。あなたの目の前にいる人は自分を映す鏡です。相手から笑顔が返ってくればこちらにも更に嬉しく、人間関係は良く回転しはじめます。

患者様に安全な医療を提供するために、医療の現場では「報告・連絡・相談」の頭文字をとった「ほうれんどう」が重要とよく言われます。そのためには患者様とだけでなく、職員同士のコミュニケーションがきちんととれていることが不可欠なのです。



「患者様とともに歩む」病院であるため、「笑顔であいさつ」することを忘れずに、中谷外科病院は47年目のスタートを切りました。引き続きよろしくお願い申し上げます。

平成25年8月吉日

中谷外科病院 院長 中谷紳

8月28日に当院職員を対象とした被曝についての勉強会を行いました。まずは「放射能漏れではなく放射線漏れまたは放射性物質漏れである」「被爆ではなく被曝」といった放射線用語から説明しました。その後、被曝による人体への影響や一般撮影・CTのおおよその被曝量などについても説明しました。放射線というのは一般の方々には理解しづらい分野ではありますが、正しい知識を持ち、放射線に過剰な反応を示すのではなく、適切な放射線防護を行うことで医療には欠かせない便利なものになります。我々診療放射線技師は、放射線のプロとして正しい知識で、被曝量を少しでも減らしつつ、診断のしやすい画像を提供する技術を日々磨いております。



診療放射線技師 西田 寛規

委員会の取り組みをご紹介します

当院には13の委員会が存在します。どの委員会も熱心に活動を行っておりますが、今回はその中の3つの委員会をご紹介します。

… 医療安全委員会 …

- ①今年の1月より、ヒヤリハットのSHELモデルによる定性分析を持ち回り方式で行っています。
- ②各部署から集まる「ヒヤリハット」について年2回(上半期・下半期)の定量分析を実施。
- ③定期的なマニュアル見直しの実施。
- ④毎月の院内パトロール実施。
- ⑤転倒転落もヒヤリハットの1つであると考え、同じ報告書で提出しておりましたが、昨年度より「転倒転落報告書」を作成し、患者さんがどういった状態で転倒転落されたのかをよりわかりやすく、より分析しやすくしました。



リスクマネージャー 大塚 恵美

… 院内感染委員会 …

院内感染委員会では、①感染経路の遮断 ②感染源の把握と除菌 ③病院環境の清潔化を実施するために院内ラウンドやサーベイランスなどの活動を行っており、院内感染状況の把握、対策、予防の指導を行っています。また、マニュアルの作成、改訂、研修会への参加、各種勉強会の実施、そして平成24年度からは岡山労災病院で行われている感染防止対策連携会議にも参加し、最新で正しい知識の習得に努めています。今後とも協力よろしくお願いします。



ICN 小林 加世子

… 患者サービス向上委員会 …

- 患者サービス向上委員会では、下記ような活動を行っております。
- ①年に3回(1月・4月・8月)の広報誌「くまのみ通信」の発行
 - ②外来待ち時間調査
 - ③外来満足度調査
 - ④入院されていた患者さんへ看護師の対応などに不満な点はなかったかなどをお聞きする「退院時アンケート調査」
 - ⑤七夕やクリスマス会のイベント開催



この他にも様々な活動を行っております。また、委員会メンバーが気づいた点や改善した方がいいと思ったところは毎月の委員会にて話し合いを行い、随時改善しております。

MSW 山崎 早苗



Nakatani surgical hospital

●●● 食中毒の院内研修開催 ●●●



7月食中毒に関する院内研修会を開催しました。病院の食事はバランスが良く、美味しいものを提供したいと考えていますが、一番はやはり安全であることです。当院の給食施設では厚生労働省の大量調理マニュアルに準じて衛生管理を行い、調理しています。平成24年度全国の食中毒事件数は第1位：ノロウイルス、第2位：カンピロバクター、第3位：黄色ブドウ球菌となっています。これらの特徴を熟知し、食中毒予防の3原則「付けない・増やさない・やっつける」を遵守し、安全な食事を病院でも家庭でも実践していきたいと思えます。

つけない：洗う！

手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌が食べ物に付かないように、1.調理を始める前、2.生の肉や魚、卵などを取り扱う前後、3.調理の途中で、トイレに行ったり、鼻をかんだりした後、4.おむつを交換したり、動物に触れたりした後、5.食卓につく前、6.残った食品を扱う前には必ず手を洗いましょう。また、生の肉や魚などを調理したまな板などの器具から、野菜などへ菌が付着しないように、使用の都度、きれいに洗いましょう。



増やさない：低温で保存する！

細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。食べ物に付着した菌を増やさないためには、低温で保存することが重要です。肉や魚などの生鮮食品やお総菜などは、購入後、できるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。なお、冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信せず、早めに食べることが大事です。



やっつける：加熱処理！

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅しますので、肉や魚はもちろん、野菜なども加熱して食べれば安全です。特に肉料理は中心までよく加熱することが大事です。目安は中心部の温度が75℃で1分以上加熱することです。

*「政府広報オンライン」からの転載

管理栄養士 松本英子

熱中症に気を付けましょう！

今年の夏は猛暑となりましたが、体調を崩されていませんか？特にこの時に気をつけたいのが熱中症です。

- ・外出時は日傘や帽子を着用する
- ・のどが渇いていなくても水分を摂る
- ・部屋の温度をこまめに測る
- ・体調が優れないときは無理をせず休息を取る

これらのことに気を付ければ熱中症を防いだり、悪化させないようにすることができます。

まだまだ暑い日は続きますので体調管理には十分にお気を付けください。



新入職員紹介

外来看護師が2名入職しました。どうぞよろしくお願ひします。



串田 咲子

働かせていただいてから、早3カ月が過ぎました。みなさんに教えていただきながらの毎日ですが、なかなか思う様に頭と身体が動いてくれません。ゆっくりではありますが、一歩ずつ、看護師として患者様に安心していただけるように頑張ります。



岡野 砂起子

6月より外来勤務しています。

慣れないこともあり、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、「思いやりと傾聴」の精神で頑張っていきたいと思ひます！



第9回 スタッフのひとりごと



先日、今年の4月からアルバイトとして当院でお世話になっている長男が病院の待合室の長椅子を一生懸命清掃している姿をチラッと目にし、母親として嬉しさと周りの方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。普段とは違う彼は、置かれたその場所で自分の役割にベストを尽くし、一隅を照らしてくれていました。

いじめや虐待、孤独死や鬱、いろんな人間関係が問題を起こしている昨今、一隅を照らしていくことで少しでも他の人の気持ちを考えることができる大人に成長してほしいと期待しています。

人それぞれ、辛いときにかけてほしい言葉は違うものです。

「励ましを 期待するなと 励まされ」

いろんな立場からいろんな形で誰かが大切に思って応援してくれていることにこれからも感謝して生きていきたいと思ひます。

外来看護師 山口 克美

七夕かざりをしました

今年も外来の北待合と5階のメバルサロンに七夕飾りを設置しました。職員や患者さんによってたくさんのかざりつけや願いごとが飾られて、素敵な七夕かざりとなりました。みなさんの願ひ事が叶いますように……。

